



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

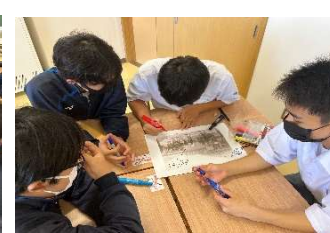
平和学習会『牛島さんと学ぶ沖縄戦』

6月19日(水)に、第二次世界大戦中の沖縄戦における第32軍 牛島 満 司令官の孫にあたる牛島 貞満さんによる平和学習会を実施しました。沖縄戦開戦の経緯、戦時下での沖縄住民の様子等のお話を通して、生徒達はペアワークやグループワークでそれぞれの考えや意見を述べ合うなど主体的な学び合いで、命の尊さや平和について考える機会となりました。

また、各学年の社会科や総合的な学習の授業でも「慰霊の日」を迎えるにあたり、沖縄戦の諸相の正しい理解と沖縄戦の教訓からの、平和の尊さについて生徒の認識を深める平和教育を実施しております。さらに、6月18日～28日を「平和月間」とし、図書館内や図書館前フロアにおいても沖縄戦に関するパネルの展示や、沖縄戦を考えるスクリーン動画も放映しています。



牛島さんと学ぶ沖縄戦



総合的な学習の授業



図書館、図書館前フロア

社会科の授業

～牛島 貞満さんへのお礼の言葉～ 生徒代表 2年 加藤 にじ さん

私達は今まで何回もの平和学習をしてきました。しかし、今日の牛島さんのお話を聞いて次の事を学ぶことができました。

1つ目は、日本軍は住民を守らなかったという事です。安里要江(としえ)さんのインタビューにあったように、日本軍は米軍の捕虜になると暴行を受けたり、戦車の下敷きにされるなど誤った情報を住民に教えたりしていました。また、沖縄戦が始まっても住民を守らず、壕から出るなど住民を守るための場所を取っていったことにはとても驚きました。日本軍が来て安心していただけの沖縄の方はきっと絶望感があったと思います。

2つ目は、戦争中は1日に一千人も犠牲者がでていたことです。私の祖父も沖縄戦体験者で、当時小学生低学年だったそうです。祖父の家族はみんな亡くなりました。きっとその約一千人の中にいたと思います。沖縄戦で亡くなった人は18万8136人とされていますが、正確の人数ではありません。戦争で戦った人、逃げた人、もっと多くいたと思います。

私は生きるか死ぬか分からない戦場で、生き残れた祖父には感謝しかありません。また、亡くなった方には敬意の気持ちを持ちたいです。祖父が生き残れたのは、きっとたくさんの人が支えて助けてくれたから、この気持ちを大切にしたいです。

私はこの平和学習を通して様々なことを知ることができました。戦争の恐ろしさや戦場の様子について知れたことを次の代まで伝え続けることが大切になると改めて思いました。